

決勝戦で小野高を下し優勝の感激を味わった。今年のチームは、昨年度の「くやしさ」からスタートした。地元開催の総体では第3位、高校選手権では第2位と、どちらもあと一歩でくやし涙をのんだ。そのくやしさ、つらさを目の前で見えていた新3年、2年の今年に賭ける意気込みと団結は素晴らしい。

新チームの準備は例年より早く出来、新人戦は勝ったものの、春の大会、遠征ではケガ人続出で成績は思うように上らなかつたが、終盤にきて主力がほぼ万全の体調で臨めたことが勝因のひとつと思う。四回戦以降の五試合の結果はすべて2-0で、しかも後半にあげた得点ばかりという内容が示すとおり、得点力は今ひとつであったが全7試合を無失点で守り抜いた守備力は高く評価される。個人技が低いめコンベクションプレイに重点をおいた方針が効を奏したと思える。チームをまとめる藤井泰之主将を中心にした3年生のまとまりとファイトあふれる2年生の追いあげで、ポジションの獲り合いはすさまじく、選手層も厚くなり、チーム力はこの2ヶ月程でグンと高まっている。

高知では、力を存分に発揮し、室蘭大会の再現(第3位)を見たい。夏に強い滝二と兵庫のパワーを狙いたいと思っている。

滝川第二 サッカー部 監督 黒田和生

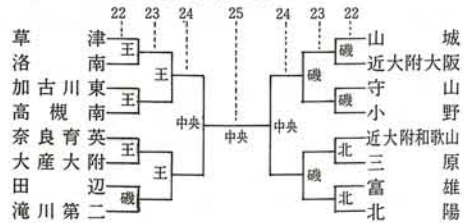
近畿高校選手権大会 神戸で開催

第42回近畿高等学校サッカー選手権大会は7月22日から神戸市王子陸上競技場、磯上公園球技場、兵庫県立北須磨高等学校で1回戦と準々決勝を開催する。

大阪府4、京都府2、滋賀県2、奈良県2、和歌山県2、兵庫県4の合計16チームが出場して、熱戦を展開する。

準決勝は24日、決勝は25日、それぞれ神戸中央球技場で行われる。

第42回近畿高等学校選手権大会 組合せ



第13回全日本少年兵庫県大会 西宮サッカークラブが全国大会へ

第13回全日本少年サッカー兵庫県大会は、昨年までの13地区、16代表チームによるトーナメント戦に変わって、13地区、24代表チームによって6月4日と11日の2日間、姫路市立球技スポーツセンターで、この時期には珍しく両日も晴天に恵まれて行われた。

試合は24チームを3チームづつに分けて6月4日に一次リーグ戦を行い、11日に各ブロックの1位チーム計8チームによる決勝トーナメントを行って県代表を決定した。

試合は一次リーグで神戸FCと引き分けるなど、少しもたつきはしたが、決勝トーナメントに入ってから、さすがに試合巧者ぶりを発揮した西宮少年サッカークラブが優勝して、全国大会行きの切符を手にした。

全日本少年兵庫県大会に優勝した西宮少年SC



第13回全日本少年サッカー兵庫県大会記録

1. 北摂	44	3	8.	北播	24	2
2. 尼崎	16	2	9.	姫路	20	3
3. 西宮	14	1	10.	竜野	19	2
4. 芦屋	9	1	11.	淡路	12	1
5. 神戸	36	3	12.	但馬	10	1
6. 明石	17	2	13.	丹有	5	1
7. 東播	15	2				

▷一次リーグ(6月4日、姫路市立球技センター)

Aリーグ	① 御津SD 2勝	② 神戸小年SC 1勝1敗	③ やまてSC 2敗
Bリーグ	① 明倫SSD 2勝	② 安室SC 1勝1敗	③ 広野小特別 2敗
Cリーグ	① 宝塚JrFC 1勝1分	② 白鳥SC 1勝1敗	③ 浜風SC 1分1敗
Dリーグ	① 尼崎南SSD 2勝	② 津井FC 1勝1敗	③ 天満東少年 2敗

神戸市総合体育大会 高校ブロック分け

平成元年度神戸市総合体育大会高等学校サッカー大会(市高校リーグ秋季大会)は7月下旬から8月20日まで市内各高校会場で行われる。

1部10、2部10、3部10、4部9チームの各ブロック分けが次のように決定した。

神戸市総体高等学校大会ブロック分け

1部	A 御影工 滝川第二 八代学院 神戸長田	B 神戸弘隆 御影 六甲 北須磨 赤塚山
2部	A 育英 神戸朝鮮 須磨東 須磨兵庫	B 星陵 神戸甲北 鈴蘭台 灘 滝川
3部	A 鈴蘭台西 神戸高塚 神戸西 兵庫工 神港学園	B 神戸工 村野工 葦合 伊川谷 東灘
4部	A 神戸FC 兵庫商 市神港 夢野台 伊川谷北	B 須磨友丘 神戸北 神戸高専 舞子

昨年初出場、初優勝して全国大会に出場した天満東SCと往年の常勝チーム津井FCが決勝トーナメントに出場出来なかったのが、少しさびしいが、どちらも第1日目の壁を、突破することが出来なかった。

尼崎南SSDと明倫SSDが準優勝と第三位に入ったのは立派であった。

審判については昨年までも県協会と姫路市のほかに、各地区からも応援をお願いしてきた。今年は各地区から県大会へ出場しているチーム以外の審判員を派遣していただき、大会の運営が従来より一層うまくいったように思う。なお毎年、姫路市協会が、役員を総動員して大会運営に当たり、ご協力して下さるのに感謝いたします。

第4種委員長 師田二郎

決勝戦	15:00	西宮少年 4 (2-0) 0	尼崎西
優勝		西宮少年サッカークラブ	
準優勝		尼崎南サッカースポーツ少年団	
第三位		明倫クラブサッカースポーツ少年団	
第四位		多井畑サッカースポーツ少年団	

兵庫県高校選手権大会 神戸市予選組合せ

兵庫県高校選手権大会神戸市予選は9月3、10、15、16、17日の5日間、伊川谷北、鈴蘭台西、甲北、灘、長田、北須磨、高塚、赤塚山、東灘、六甲、滝川第二、須磨東の各会場で、神戸市部加盟校36校から、県総体ベスト8(滝川第二、神戸弘隆、八代学院)を除いた33校によって、予選リーグを行う。予選リーグは、春季リーグ戦結果の1部、2部をシードして8ブロックに分けられた。

決勝トーナメントは予選リーグ戦の各ブロック1位をシードし、2位はフリー抽選として、9月24日、10月1、7、8日に70分ゲームで行われ、県大会に出場する3校を決定する。

兵庫県高校選手権大会神戸市予選(日程)

予選リーグ	9月3日、伊川谷北、鈴西、甲北、灘
〃	9月10日、長田、北須磨、高塚、赤塚山
〃	9月15日、北須磨、東灘、高塚、六甲
〃	9月16日、滝川第二、東灘
〃	9月17日、東灘、須磨東

決勝トーナメント1回戦: 9月24日

〃 2回戦: 10月1日

〃 3回戦: 10月7日

3位決定戦 10月8日

Aブロック	※赤塚山	※灘	兵庫商	夢野台
Bブロック	※長田	※鈴蘭台	鈴蘭台西	神港学園
Cブロック	※六甲	※神戸北	神戸高塚	市神港
Dブロック	※神戸	※滝川	伊川谷	神戸友丘
Eブロック	※北須磨	※育英	兵庫工	伊川谷北
Fブロック	※御影	※星陵	葦合	神戸北
Gブロック	※御影工	※須磨	舞子	村野工
Hブロック	※須磨東	※兵庫	市神工	神戸西東灘

※印1部 ※印2部

指導者講習会初級コース終了

平成元年度少年指導者講習会初級コースは6月24日から7月8日まで磯上球技場ほかで行われた。今年も神戸市少年リーグに所属する各国の指導者の中から、熱心な指導者36人が受講され35人が終了証書を手にした。

受講者は勤め帰りの貴重な時間を利用して、加藤寛氏による講義「少年サッカーに求められるもの」から、ドリブルとフェイント、1対1、キック、シュートなどの実技まで少年サッカーの基本をやさしく、楽しく受講された。受講者の中には3回目を数える方もおり、少年サッカーの普及と発展を担う指導者の熱心が講師の先生にまで伝わってきた。

7月8日に行われた閉校式では、終了証の授与とパーティーが催され、志賀守少年技術委員長より「この講習会で学んだことをチームに帰って子供達に伝えて、素晴らしい選手を育ててください」とあいさつがあった。

受講終了者は下記の通り。

飯島伸朗 小川昇生 奥野弘 長井美貴男(夢野) 福岡恒幸 岩崎友輔 斎藤隆三郎(木津) 池田清 大橋祥一 嶋本重則(ひよどり台) 井上由一 植村敏夫(和田岬) 今野一彦 清水宏 下垣廣司(成徳) 添間富雄 鳥越良治(有野) 門野光光子 上甲節美 長原 昭人(神陵台) 金井恵美(神出) 河田一豊(北須磨) 川谷一朗(つづが丘) 境豊治郎 坂元潔美 水川嘉伸(本庄) 瀬田正勝 増井光資(多井畑) 竹内太都男 寺田龍一郎(神の谷) 谷川善延(桜の宮) 土井俊信(新多聞) 西森文宣(コスモ) 橋口栄治 余田賢三(SNSC)

準々決勝	明倫一御津 高倉一西宮少年	9:30	1 (1-0) 0	1 (0-1) 3
準々決勝	尼崎南一網干西 塚塚Jr.一多井畑	10:30	0-0 PK5-4	0 (0-1) 1
準決勝	明倫一西宮少年 尼崎南一多井畑	12:00	1 (1-1) 3	2 (1-0) 0
3位決定戦	明倫 0-0 PK 3-2	14:00		多井畑

天に天国あり 地にフットボールあり

南アメリカ3カ月の旅 ⑧

<22>

上野 勝幸



チームの色を見ただけで、これはイングランド、青・白・赤ならフランスというふうに、簡単に識別できる。

例外と言え、緑・白・赤の国旗とは全く関係のないアツロ(azzurro:紺色の)色のイタリア、西ドイツ、それにオランダくらしいものか。

アジアのチームも、国旗の色にこだわるのが普通だ

サンパウロ(ブラジル①)

そして、ブラジルへ

が、どういいうわけか日本は、これまで青が多かった。

万華鏡の中のように、緑のフィールドで踊るユニホームの豊かな色彩が、フットボールの華やかさを側面から支えている、と言っているのかもしれない。もちろん、ボールの白もアクセントとして効果的である。

ブラジル国旗の基調とな

る緑は、豊かな山野を、菱(ひし)形の黄は大地に埋もれる限りない富を、そして円形の青は、南十字星を中心とした天体を意味する。そこにちりばめられた23個の星は、首都と州を表現しているが、これは共和革命一ロパのチームもユニホ



オデジャネイロの町から仰いだ星座を形どったものだ。青色の天体を巻く白い帯の中には、国旗には珍しく標語が記されている。ブラジルの共和主義者が金科玉条とした、フランスのオギスト・コントの著書の中に、「進歩とは秩序の敢行されたもの」

とあるところから、「秩序と進歩」の言葉をとり入れた、ということである。

日本の22.5倍の国土に、約1億4千万の人口。工業技術力の水準は世界でもトップクラス。豊富な資源に恵まれ、「21世紀の大国」になる可能性を十分に秘めているが、財政赤字と国際収支赤字の「双子の赤字」で破産寸前の経済。冬の時代に突入した「秩序と進歩」の国のフットボールに、触れてみたい。

ブラジルのプロチームの数が、大小合わせると約5百あるのに対して、同じく人口が1億を超える日本のプロ野球は、わずかに12チーム。単純計算で比較するだけでも、ブラジルのフットボール人気に度肝(一ぎも)を抜かれる。

ブラジル最初の目的地は、どこでもいいのだが、サンパウロ市にしよう。パラグアイのアスンシオン市から直線距離で1,100km。その途中で、世界最大の滝「イグアス」に立ち寄ってみた。パラグアイ、アルゼンチン、ブラジル3国の国境にまたがっている。

うっそうと茂る密林の中の一歩道を行きついた所で、こつ然と目の前に開かれた



4見る者の魂まで奪い取れそうなお世界最大のイグアスの滝



パノラマに、思わず息をのんだ。幅4kmにわたって、100mの高さから茶褐色の水の塊が、天地に轟音(ごう)を響かせながら、水柱となって、滝つぼに打ち込まれていく。これは神のなせるワザなのか。小さな人間の死生観が割り込めるスキマなどなかった。

イグアスの滝からサンパウロへ向かうバスは、緩やかな大地に見渡す限りの畑が続く。はり付いているトラクターが蚤(のみ)のようだ。

17時間突っ走って、バスはサンパウロ市の巨大なターミナルにたどり着いた。「国旗の日」の5日前、すなわち(1987年)11月14日のことである。1千万人を抱える南アメリカ最大の都市。エネルギーに動き、回る人々の生活のにおいが伝わってくる。日系人も多いと聞く。季節はすっかり夏。ブラジルは、暑い時期のほうが、何となくブラジルらしい、という気がする。

沸きあふれるような人込みと、連射砲のようにしゃべるブラジル人のポルトガル語には全くお手上げ。

異国の地で言葉が通じないもどかしさは、耳が聞こえなかったり、物がしゃべれないと聞かされる。いや、普段なまじ耳や口が機能し、感情や意思の表現に特別な注意を払っていない。自分の肉体と精神が、外界から完全に隔離されてしまったような恐怖感に襲われてくる。

やっとの思いで電話の連絡が取れ、迎えに来てもらったのが、熊本出身の吉野貴彦氏。サンパウロに住み着いて7年、貿易関係の仕

事の傍ら、ブラジルと日本のサッカー交流事業を計画している。「日本人の方で、吉野さんのひびに、しがみつきたい気持ちだった。

プロの試合を見るのが、なんと言っても最高の御馳(ち)走だ。サンパウロ市のリーグ戦は、サンパウロFCの優勝で幕を閉じていたが、吉野さんの案内でコパ・ウニオン(Copa União)の試合にありつけた。古い殺を破り、「新しいフットボール」を創造しようと、協会には頼らずに主要なクラブが中心となって、1987年からリーグ戦終了後の時期に始めた大会である。

バルメイラスとボタフォゴの対戦。選手の細胞の隅々にまで、神経が行き届いたボールさばきと、身のこなしは、ヨーロッパでは味わえなかったブラジル独特の「コク」。ゴール裏には、選手のユニホームと同じカラーでまとめたサポーターが、陶酔境に浸っている。どこからかサンバのリズムが流れてきた。

いま、フットボールのド真ん中にある。嗚呼、天に天国あり、地にフットボールあり。

—続く—

(うえのかつゆき 写真も)

この連載はチリ、ウルグアイ、パラグアイ、ブラジル、アルゼンチン5か国のフットボール旅行記をお送りしているものです。

モンブラン発。愛するサッカー人へ。

SOCCER SHOES



マーカムSFホワイト
●カラー/ブラック×ホワイト・ブルー・レッド・ケリー ●サイズ/20.0-27.0cm
標準小売価格 ¥5,000

モンブラン株式会社 本社 〒653 神戸市長田区神楽町4丁目7-16 TEL(078)641-8881 東京支店 〒111 東京都台東区浅草橋3丁目10-8 TEL(03)862-5891 福岡営業所 〒816 福岡市博多区郡1丁目1-12 TEL(092)473-8881

TRAINING SHOES



コーチャーCTR-21
●カラー/ブラック×ホワイト ●サイズ/21.0-28.0cm
標準小売価格 ¥5,600

NEW

TRAINING SHOES



コーチャーCTR-21PS
●カラー/ブラック×ホワイト ●サイズ/22.0-28.0cm
標準小売価格 ¥5,200

NEW